

● 世界の主な火山活動

平成30年(2018年)1月に噴火が報告された主な火山(日本を除く)*は以下のとおり。

シベルチ (Sheveluch) ロシア(図中A) 標高 3,283m

噴火が続くシベルチでは、1月10日に噴煙が海拔10-11kmまで上がる爆発的噴火が発生した。

マヨン (Mayon) フィリピン(図中B) 標高 2,462m

マヨンでは、1月13日に噴火が発生した。その後も、度々噴火が発生した。1月23日のニュース記事によると、約4万人が避難し、複数の空港が閉鎖された。1月28日から29日の間、大雨のために火山泥流が発生した。

カドバー島 (Kadovar) パプアニューギニア(図中C) 標高 365m

カドバー島では、1月5日に初めて噴火が確認された。南東側の海岸にできた溶岩ドームは成長を続け、高さは海拔50m、海岸から島の外に150-200mまで拡大している。カドバー島の住民591人が避難した。



図 平成30年(2018年)1月に噴火した主な火山(日本を除く)*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁:「火山観測指針(参考編)」による。